

専攻科教育

JABEEの認定基準に準拠した複合型生産システム工学に関連する分野で技術革新を担うことができる高度で幅広い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力、課題探求・問題解決能力、技術者倫理を含む総合的判断力、英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、技術開発の場で新たな価値を創造する力を育てます。

また、各専攻所定の単位を取得し、大学評価・学位授与機構の審査に合格すると、修了時に大学卒業と同等の学位（学士）が授与されます。

電子機械工学専攻

機械工学、電気電子工学、電子情報工学等の学科出身者を対象として、機械・生産システム、メカトロニクス、計測制御技術、エレクトロニクスおよび情報技術などの分野で技術革新を担うことができる高度な専門知識を習得させるとともに、研究開発能力を養います。

応用物質工学専攻

生物応用化学、材料工学等の学科出身者を対象として、ファインケミストリー、バイオテクノロジー、材料プロセス、環境保全・リサイクル技術および機能性新素材などの分野で技術革新を担うことができる高度な専門知識を習得させるとともに、研究開発能力を養います。



世界水準を保証する 技術者教育プログラムの推進

「複合型生産システム工学」教育プログラムは、学科4・5年及び専攻科1・2年の4年間で学習する工学（融合複合・新領域）関連分野の技術者教育プログラムです。高専教育の特徴である早期7年一貫教育により、主となる専門分野（機械、電気・電子・情報、化学・生物、材料）の知識に加えて、中京地区の伝統的特徴である素材から工業製品に至る“ものづくり”に必要な生産システムに関する工学基礎知識、豊富な実験技術および新たな価値を創り出すことができる力を身に付けた国際的に活躍できる実践的技術者の育成を目指します。

このプログラムは、平成16年5月に日本技術者教育認定機構（JABEE）から正式認定を受け、技術社会が求める水準と質を十分満たしているとの評価を受けました。

学科教育

5年一貫の教養教育及び実践的工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための理論と専門知識、並びに豊富な実験技術を習得させるとともに、応用・展開力と創造性を養います。



各学科の特徴

機械工学科

機械工学に関する基礎理論と専門知識（材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産）に加え、メカトロニクス・ロボット工学などコンピュータ応用技術に関する幅広い知識、さらに CAD/CAMを用いた最先端の設計技術・加工技術も習得します。

電気電子工学科

電力・鉄道などのインフラからスマートフォンやデジタル家電など様々な電気電子製品の設計・生産をはじめ、機械・化学・食品・IT産業などの分野で活躍できる技術者を目指し、電気電子技術・情報通信技術を学びます。また、本学科は第2種電気主任技術者の認定対象学科です。

電子情報工学科

プログラミングや計算機アーキテクチャ、ネットワークやOSなどソフトウェア系分野と、電磁気、電気回路、電子回路、デバイスなどハードウェア系分野、および制御分野に代表されるソフトウェアとハードウェアの融合領域に関する知識を学び、マイコンやFPGA等を用いた技術も習得します。

生物応用化学科

工業化学を学ぶ「応用化学コース」と生物工学を学ぶ「生物化学コース」があります。両コース共に医薬・化粧品などのファインケミカルズ、プラスチック、環境保全などに関連する知識や技術を習得するほか、最新の化学理論とバイオテクノロジーをそれぞれ学びます。

材料工学科

材料の物理と化学、材料の構造・物性・機能、製造プロセス、材料設計等の材料工学の基礎的な理論と知識・技術を学び、材料の製造、研究・開発に柔軟かつ適切に対応できる実践的能力を養います。生活や産業の発展を材料の視点から支え、グローバル社会で活躍する技術者を目指します。

集まる 若人

秩序の中に

自由をよろこび

鍛えらる 海の外に

鍛えらる 山のおろしに

～鈴鹿工業高等専門学校 校歌より～

鈴鹿高専ポケットガイド 平成27年度版

発行 平成27年7月
独立行政法人国立高等専門学校機構鈴鹿工業高等専門学校
〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町
TEL：059-386-1031（代表）
FAX：059-387-0338
<http://www.suzuka-ct.ac.jp/>



総務課総務企画係 TEL：059-368-1711
総務課経理係 TEL：059-368-1721
学生課教務係 TEL：059-368-1731
学生課学生支援係 TEL：059-368-1732
学生課入試係 TEL：059-368-1739
図書館 TEL：059-368-1733

鈴鹿高専 ポケットガイド2015



NIT, Suzuka College

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY

日本技術者教育認定機構（JABEE）認定校
大学評価・学位授与機構高等専門学校評価基準認定校

独立行政法人国立高等専門学校機構
鈴鹿工業高等専門学校

基本理念

教育理念

- (1) 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- (2) 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。
- (3) 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- (4) 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

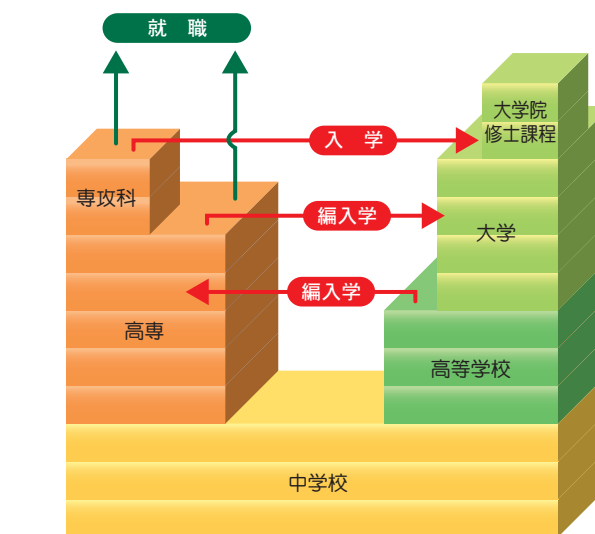
養成すべき人材像

- (1) 生涯にわたり継続的に学修し、広い視野と豊かな人間性をもった人材を養成します。
- (2) 高い専門知識と技術を有し、深い洞察力と実践力を備えた人材を養成します。
- (3) 課題探求能力と問題解決能力を身につけた創造性豊かな人材を養成します。
- (4) コミュニケーション能力に優れ、国際性を備えた人材を養成します。

求める入学志願者像

- ・自然科学に興味をもち、将来の科学技術の発展に夢を抱く人
- ・自らの向上をめざして継続的に自己学習ができる人
- ・何事にも積極的に挑戦する意思と意欲のある人

高専制度



アクセス

近鉄名古屋線白子駅下車。白子駅西口から三重交通バス平田町行き・鈴鹿サーキット行きに乗車約10分。東旭が丘3丁目で下車。バス停から徒歩10分。



校内地図



教育活動等

国際交流

学術交流協定を締結しているオハイオ州立大学（アメリカ）、ジョージアンカレッジ（カナダ）及び常州情報職業技術学院（中国）と交流を深めています。平成26年度は、オハイオ州立大学への学生派遣、ジョージアンカレッジへの語学研修を実施したほかドイツの大学への学生派遣も開始しました。

さらに、マレーシア、インドネシア、モンゴルより留学生を受け入れ、国際交流の進展にも寄与しています。



学生の活躍（平成26年度）

- ・全国高等専門学校体育大会（優勝）陸上（男子400m・男子走高跳）
- ・全国高等専門学校体育大会 6連覇 バスケットボール（女子）
- ・全国高等専門学校女子剣道大会 13連覇
- ・全国高等学校総合体育大会出場（陸上・空手・弓道）
- ・全国高等学校総合体育大会 男子走高跳3位
- ・高専口ボコン2014 東海北陸地区大会 ベスト8・技術賞・特別賞 出前迅速賞 アイデア賞
- ・全国大会 アイデア賞
- ・高専プロコン 自由部門・課題部門特別賞
- ・ポルト締め忘れ防止学生アイデアコンペ 優秀賞・佳作受賞
- ・工業英検 文部科学大臣賞 団体賞
- ・各種学会で受賞多数



学生数（平成27年4月1日現在）

学 科	定員	1年	2年	3年	4年	5年	計
機械工学科	40	41	41	45	50	38	215
電気電子工学科	40	48	42	43	44	46	223
電子情報工学科	40	44	43	38	47	40	212
生物応用化学科	40	41	41	45	35	39	201
材料工学科	40	41	41	42	48	43	215
合計	200	215	208	213	224	206	1,066

専攻科	定員	1年	2年	計
電子機械工学専攻	12	21	15	36
応用物質工学専攻	8	11	12	20
合計	20	32	27	53



卒業後の主な進路（過去5年間）

○進学先 学科

鈴鹿高専 専攻科、北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、千葉大学、長岡技術科学大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、三重大学、静岡大学、福井大学、奈良女子大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、九州大学、立命館大学 他 専攻科
筑波大学大学院、東京工業大学大学院、金沢大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、名古屋大学大学院、三重大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、広島大学大学院、早稲田大学大学院 他

○就職先 学科

アイシン精機、旭化成、AGF鈴鹿、NTTデータ、NTT西日本、大阪ガス、カゴメ、関西電力、キヤノン、京セラ、サントリープロダクツ、JSR、JR東海、JR西日本、資生堂、昭和四日市石油、新日本製鐵、住友電装、第一工業製菓、ダイキン工業、大日本住友製菓、中部電力、東芝、東ソー、東邦ガス、東レ、ニコン、日本たばこ産業、パナソニック、光機械製作所、富士ゼロックス、富士通、ブラザー工業、本田技研工業、三菱ガス化学、三菱重工業、三菱電機ビルテクノサービス、ロート製菓 他 専攻科
アイシン精機、旭化成、カネカ、協同油脂、JSR、シャープ、シンフォニアテクノロジー、DIC、DMG森精機、日東電工、日本たばこ産業、日立製作所、ミルボン、矢崎総業、ヤマザキマザック、ユニチカ 他

沿革

昭和37年4月1日 鈴鹿工業高等専門学校の設置(機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科で発足)
昭和41年4月1日 金属工学科を設置
昭和61年4月1日 金属工学科を材料工学科に改組
平成元年4月1日 電子情報工学科を設置
平成2年6月5日 アメリカ・オハイオ州立大学工学部と学術交流協定を締結
平成3年10月9日 カナダ・ジョージアンカレッジと学術文化交流協定を締結
平成5年4月1日 専攻科(電子機械工学専攻、応用物質工学専攻)を設置
平成9年4月1日 工業化学科を生物応用化学科に改組、生物化学及び応用化学の2コース制を開設
平成14年4月1日 共同研究推進センター発足
平成15年4月1日 電気工学科を電気電子工学科に改組
平成16年4月1日 文部科学省から独立行政法人国立高等専門学校機構へ移管
平成16年5月10日 技術者教育プログラム「複合型生産システム工学」が日本技術者教育認定機構(JABEE)から認定
平成18年3月20日 高等専門学校評価基準を大学評価・学位授与機構から認定
平成18年4月18日 中国・常州情報職業技術学院と学術文化交流協定を締結
平成19年4月1日 一般科目を教養教育科に改組
平成24年11月3日 創立50周年記念式典を挙行
平成24年11月26日 大阪大学工学部・大学院工学研究科と教育研究交流に関する協定、実習生派遣に関する覚書を締結
平成25年3月27日 高等専門学校評価基準を大学評価・学位授与機構から認定

施設紹介

図書館

所蔵図書は約10万冊あり、専門図書に限らず一般図書も多数所蔵しています。
また、一般の方々に生涯学習の場として開放しています。



開館日 平日 9時～20時30分
土曜日 9時～17時

休館日 日曜、祝日
(学生イベント、夏季休業期間等で休館日・時間の変更がありますので、ホームページが電話で確認してください)

<連絡先>図書館 Tel: 059-368-1733

学生寮

構内に4棟からなる学生寮があり、430名の学生を収容することができます。各居室にはエアコン、有線LANが整備され、寮生は恵まれた環境の中で勉学に励み、快適な共同生活を送っています。学生寮は、友愛、協力、自立の精神を培い、技術者として必要な資質を養うための教育施設でもあります。そのため、毎日、教員が直視監視として指導にあたり、規律ある生活ができるように配慮されています。



研究施設等

- ◆共同研究推進センター
- ◆情報処理センター
- ◆クリエーションセンター
- ◆青峰会館(学生食堂)他
- ◆イノベーション交流プラザ 他

- 敷地面積 120,551平方メートル
- 建物延面積 39,393平方メートル



クリエーションセンター
平成25年4月完成



イノベーション交流プラザ
平成26年4月完成

目標

1 教育に関する目標

【学科教育】

5年一貫の教養教育及び実践的工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための基礎的な知識と技術及び生涯にわたり学習する力を身に付けた人材を育てます。

【専攻科教育】

より高度で幅広い専門知識や創造力、判断力を身に付け、科学技術の分野で国際的に活躍できる実践的技術者を育てます。

2 研究に関する目標

教育内容を学術の進展に即応させるため、継続して研究を行います。そのために必要な学術的研究のみならず先進的な研究、学科間を越えた複合・融合領域研究、産学官連携による共同研究・受託研究も推進します。これらの研究成果を発表や知的財産化等で広く社会に提供し、人材育成および地域・産業界に貢献します。

3 社会との連携や国際交流に関する目標

地域交流・地域連携・産学官連携等を通じて本校の教育研究の成果を社会に還元し、その連携協力を努めます。また、地域の生涯学習機関としての役割を果たします。

さらには、外国の高等教育機関との協定に基づく学生の国際交流を継続発展させ、国際的な視野と知見を備えた技術者の育成を図るとともに、留学生の受け入れを積極的にしています。

4 管理運営に関する目標

校長のリーダーシップの下に、運営会議を中心とした施策立案、審議執行及び評価監査のサイクルを確立するとともに、迅速かつ効率的な運営を図るため、運営会議及び各種委員会の位置付け、機能及び審議・協議事項の明確化を図ります。

また、本校における教育研究等の活動全般について自己点検・評価を行うとともに、広く外部からの意見を取り入れ、開かれた学校運営を行います。

さらには、限られた各種資源を戦略的に配分するため、本校の運営方針に基づき、重点的に資源配分する仕組みを整備するとともに、事務組織の機能、編成等を見直し、事務処理の効率化・簡素化並びに事務職員及び技術職員の資質の向上に努めます。

地域貢献・地域開放事業

○平成27年度男女共同参画推進モデル校
・女子学生の比率向上及びキャリア教育の充実を図る取組

○主に小・中学生向けの公開講座

- ・機械工学のひとこま
- ・楽しい電子回路工作
- ・マイコン電子制御
- アルドウィーン de テクノ工作—
- ・身のまわりのおもしろ化学実験
- ・材料工学科で学ぶ夏休み自由研究

○小・中学校への出前授業

鈴鹿市等の教育委員会と連携して実施しています。授業を受けた参加者からは理科が好きになったなどの声が多く聞かれます。

○技術相談

地域貢献の一環で技術相談を実施しています。技術相談から共同研究を実施したケースもありますので、お気軽にご連絡ください。

<連絡先>総務課地域連携係 Tel: 059-368-1717



研究活動

■科学研究費補助金・基金助成金（平成27年度）	基盤研究(C)	4件	萌芽研究	2件	若手研究(B)	5件	奨励研究	2件
■共同研究等（平成26年度）	民間等との共同研究	17件	受託研究	8件				
■奨学寄附金（平成26年度）				33件				
■大学教育改革の支援事業等（平成26年度採択分）	科学技術振興機構・科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」							
	発明協会・産業財産権標準テキストの有効活用に関する実験協力校 文部科学省・大学間連携共同教育推進事業							
	工業所有権情報・研修館知的財産に関する創造力/実践力/活用性開発事業(展開型)							

収入・支出（平成26年度）

収入	【単位：千円】	支出	【単位：千円】
運営費交付金	108,613	業務費	413,365
授業料等収入	291,810	施設整備費	281,333
施設費	281,333	産学連携等研究費	35,824
産学連携等研究収入	43,158	寄附金収入	42,997
寄附金収入	42,997	その他補助金事業費	12,313
その他補助金収入	13,164		
合計	781,075	合計	776,754

教職員数（平成27年5月1日現在）

校長	教授	准教授	講師	助教	事務職員	技術職員	再雇用	計
1	30	34	7	11	27	16	7	133

教員一覧

職名	学位	氏名	専門分野	職名	学位	氏名	専門分野
校長	博士	新田 保次	交通計画・地域計画	准教授	修士	久原昌宏	日本近代文学
准教授	修士	石谷 春樹	日本近代文学	講師	博士	渡邊 潤爾	地域経済学
助教	博士	藤野 月子	中国古代外交史				

教養教育科(数学)

准教授	修士	伊藤 清	リー環論	准教授	博士	堀江 太郎	整数論・保型形式
准教授	修士	川本 正治	数学教育学	准教授	博士	大貴 洋介	代数学
講師	博士	豊田 哲	距離空間の幾何学・幾何学的群論	助教	博士	飯島 和人	代数学

職名	学位	氏名	専門分野	職名	学位	氏名	専門分野
教 授	博士	田村陽次郎	生物物理学・生体工学	教 授	博士	岩本 仁志	計算機化学
准教授	修士	山崎 賢二	触媒化学	准教授	博士	仲本 朝基	原子核理論
准教授	博士	丹波 之宏	生物物理学	准教授	博士	三浦 陽子	凝縮系物理

教養教育科(体育・武道)

教 授 学士 細野 信孝 武道・剣道
助教 修士 宝来 毅 スポーツバイオメカニクス

教養教育科(外国語)

教 授 修士 出口 芳孝 言語学・自然言語処理
教 授 修士 林 浩士 英語教育学
准教授 修士 山下 隆司 アメリカ文学

機械工学科

教 授 博士 佐脇 豊 機械加工・材料学
教 授 博士 近藤 邦和 流体力学
教 授 博士 藤松 孝裕 熱工学
准教授 博士 白井 達也 ロボット工学
准教授 博士 打田 正樹 制御工学
助教 博士 南部紘一郎 材料保証学

電気電子工学科

教 授 博士 花井 孝明 電子線工学
教 授 博士 奥田 一雄 電子機器・電子材料工学
教 授 博士 横山 春喜 半導体デバイス工学
准教授 博士 辻 琢人 半導体工学
准教授 博士 柴垣 寛治 フラスタリ工学・量子エレクトロニクス
講 師 博士 山田伊智子 半導体工学

電子情報工学科

教 授 博士 井瀬 潔 電子工学
教 授 博士 伊藤 明 電子計測
准教授 博士 箕浦 弘人 パーシャルリアリティ
准教授 博士 青山 俊弘 情報工学・生理工学
講 師 博士 板谷 年也 磁気計測工学・非破壊検査工学
助教 博士 岡 芳樹 コンピュータ工学

生物応用化学科

教 授 博士 生貝 初 微生物学・細菌毒素
教 授 博士 長原 滋 有機合成化学
准教授 博士 船越 邦夫 化学工学・結晶化学
准教授 博士 山本 智代 機能高分子化学・ケラル分析
准教授 博士 高倉 克人 構造有機化学
講 師 博士 小川亜希子 動物環境・生化学工学

材料工学科

教 授 博士 宗内 篤夫 燃料電池・電気化学
教 授 博士 小林 達正 金属物理学
教 授 博士 下古博司 低負荷型環境材料
准教授 博士 南部 智憲 金属物理・合金設計
准教授 博士 黒田 大介 加工熱処理学・金属組織学
助教 博士 幸後 健 無機材料・電気化学

助教 博士 近藤 一之 電子回路
教 授 博士 川口 雅司 情報処理工学
准教授 博士 北村 登 電子工学
准教授 博士 西村 一寛 磁気工学
准教授 博士 犬塚 勝美 計測制御
電話准教授 博士 奥野 正明 電気機器工学
助教 博士 西村 高志 表面科学
教 授 博士 飯塚 昇 無線通信工学
准教授 博士 田添 文博 自然言語処理
准教授 博士 森 育子 環境電磁工学
講 師 修士 平野 俊範 情報工学・生理工学
助教 博士 浦尾 彰 教育学
助教 博士 森島 佑 情報理論・通信理論・誤り訂正符号